



プレス発表資料

平成 30 年 3 月 6 日
秋 田 大 学

秋田大学、ジオパーク防災講演会 in 八峰「八峰町の津波防災について考えるー日本海中部地震から 35 年、東北地方太平洋沖地震から 7 年を経て」を開催

秋田大学（学長：山本文雄）は 3 月 11 日（日）、八峰町文化ホールにてジオパーク防災講演会 in 八峰「八峰町の津波防災について考えるー日本海中部地震から 35 年、東北地方太平洋沖地震から 7 年を経て」を開催します。

昭和58年5月26日に発生した日本海中部地震から約35年、平成23年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震から7年が経過しました。その間、県内でも地震・津波対策の見直しがおこなわれてきましたが、震災の記憶の風化が叫ばれる今、津波防災・減災対策を改めて考え直す必要性が高まっています。今回は、八峰町における津波防災・減災について考えます。

日 時 平成 30 年 3 月 11 日（日）13:30～15:30（12:30 開場）
会 場 八峰町文化ホール（秋田県山本郡八峰町八森字中浜 196 番地 1）
対 象 どなたでも
参加費 無料 ※事前申し込みが必要です。
申込先 八峰白神ジオパーク推進協議会事務局
TEL : 0185-77-3086 FAX : 0185-88-8075

主 催 秋田大学地方創生センター
秋田大学大学院理工学研究科附属地域防災力研究センター
八峰白神ジオパーク推進協議会
後 援 八峰町

講演者 鎌滝孝信（秋田大学地方創生センター 准教授）
「日本海で過去に発生してきた津波について」

松富英夫（秋田大学大学院理工学研究科 教授）
「津波への備え ー国土強靱化ー」

渡邊一也（秋田大学大学院理工学研究科 講師）
「避難ビルとシェルターを使用したハイブリッドな津波対策について」

※詳細は別紙をご覧ください

【お問い合わせ先】

秋田大学地方創生・研究推進課 大日向
TEL : 018-889-2844 FAX : 018-889-3162
E-mail : bousai-s@jimui.akita-u.ac.jp

ジオパーク防災講演会in八峰

八峰町の津波防災について考える

『日本海中部地震から35年、東北地方太平洋沖地震から7年を経て』

1983年5月26日に発生した日本海中部地震から約35年、2011年3月11日に発生した東北地方太平洋沖地震から7年が経過しました。その間、県内でも地震・津波対策の見直しがおこなわれてきましたが、震災の記憶の風化が叫ばれる今、個人においても津波防災・減災対策を改めて考え直す必要性が高まっているといえましょう。今回の講演会は、東日本大震災から7年目の日に津波防災・減災について改めて考えていただく機会を設けたく企画しました。多くの皆様のご参加をお待ちしております。



【日時】平成30年3月11日(日)

13:30~15:30(開場 12:30)

【会場】八峰町文化ホール

【参加費】無料

【お申込み方法】裏面をご覧ください(要事前申込)

【講演者】

①秋田大学地方創生センター 准教授 鎌滝 孝信
「日本海で過去に発生してきた津波」

②秋田大学大学院理工学研究科 教授 松富 英夫
「津波への備え」

③秋田大学大学院理工学研究科 講師 渡邊 一也
「避難ビルとシェルターを使用したハイブリッドな津波対策」

※各講演内容は変更となる可能性がありますのであらかじめご了承ください。



【主催】秋田大学大学院理工学研究科附属地域防災力研究センター
秋田大学地方創生センター
八峰白神ジオパーク推進協議会

【後援】八峰町

【お問い合わせ】

八峰白神ジオパーク推進協議会 TEL: 0185-77-3086

ジオパーク防災講演会in八峰 参加申込書

日 時：平成30年3月11日(日) 13:30~15:30
※開場 12:30~

会 場：八峰町文化ホール ※八峰町文化交流センター「ファガス」となり

参加費：無料

申込方法：必要事項をご記入の上、下記申込先までこのままFAXしてください。(電話可)

申込代表者名	フリガナ：	ご連絡先	(電話)	-	-
			(FAX)	-	-
ご住所	〒 -				
E-mail					
同行者名1	フリガナ：				
同行者名2	フリガナ：				
同行者名3	フリガナ：				

※ご記入いただいた個人情報は厳正に管理し、第三者に情報の開示・提供をすることはありません。

申込先：八峰白神ジオパーク推進協議会事務局
TEL:0185-77-3086
FAX:0185-88-8075

申込締切：平成30年3月9日(金)まで